

研究会等の報告／予定

第15回 総研大・KEK 夏期実習の報告

放射光科学第二研究系 足立伸一

今年も夏期シャットダウン前の6月14日～16日の3日間、総研大・KEK 夏期実習が開催されました。この夏期実習は、主に大学院生及び学部高学年の学生、または民間企業等の若手研究者を対象として、加速器実験の現場に触れ、また素粒子原子核、物質構造科学の実験及び加速器科学の実験を自らの手で行うことによって、高エネルギー加速器が拓く新分野を体験し、理解し、楽しんでいただくことを目的としています。本年度の参加者数は73名で、内訳は学部3年生5名、学部4年生25名、修士1年生23名、修士2年生7名、博士後期1年生2名、博士後期2年生2名、博士後期3年生1名、研究生1名、社会人7名でした。

第1日目に、放射線安全講習会、ガイダンス、KEK・総研大の紹介が行われ、それに引き続いて共通講義が行われました。共通講義は3つの講義から参加者が自由選択する方式になっており、KEK 各研究部門を代表して、以下の3つの講義が行われました。

- ・素粒子物理学の現状と展望（素核研・小林 誠教授）
- ・ μ SR 法による磁性・超伝導研究の最前線
（物構研・門野良典教授）
- ・リニアコライダー加速器開発の現状と展望
（加速器研究施設・浦川順治教授）

第2日目にはテーマごとに分かれて実習が行われました。素粒子原子核実習、物質構造科学実習、加速器科学実習のうち、物質構造科学実習のテーマは以下の9コースでした。

- ・DNA 中のリン原子軟X線吸収による鎖切断の検出
（担当：小林、宇佐美）
- ・蛋白質X線結晶構造解析（五十嵐、松垣、加藤、若槻）
- ・光電子分光で探る物質のバンド構造（小野、久保田）
- ・円偏光を利用した軟X内殻磁気円二色性（小出）
- ・粉末回折を極める その2（澤、若林）
- ・パルスX線を使ったX線回折実験（足立、河田）
- ・ダイヤモンド・アンビル・セルによる超高压下回折実験（亀卦川）
- ・ μ SR（ミュオンスピン回転）法による物性研究
（門野、西山、大石）
- ・中性子非弾性散乱による水素のハーモニックポテンシャルの直接観測（伊藤）

第3日目は、午前中に実習の続きと、テーマによっては報告会などが行われ、午後には全体で4班に分かれてKEK 内の各研究施設の見学を行いました。放射光関係で



BL-1B での夏期実習風景

は、PF（見学対応：間瀬）とPF-AR（見学対応：足立）が見学場所となりました。

最終日に行った参加者のアンケート集計によると、実習については、理解度、進め方、時間について80%以上の参加者が満足し適切だったと回答しました。共通講義についても理解できた（81%）、内容について満足（100%）と非常に好評でした。昨年度から導入した3つの共通講義からの自由選択形式が定着したことを示すと共に、本年度の共通講義の講師の方々非常にわかりやすい講義をしてくださったことが、今回好評であった最大の要因であると思われる。最終日の施設見学については時間が適切（91%）、内容に満足（98%）とのアンケート結果となりました。

今年度は73名もの参加者を迎えることができ、また参加者の方の反応もおおむね好評だったようです。来年度も夏期実習が開催される予定です。本年度の経験に基づいてさらに魅力のある講義、実習を企画いたしますので、ぜひ多くの方の参加を期待しております。また、これをお読みになった大学教員の方々は、ぜひ学生の皆さんに勧めただけければ幸いです。最後に、夏期実習にご協力いただいたPF スタッフの皆さんに感謝いたします。

第18回日本放射光学会年会・ 放射光科学合同シンポジウム開催要項

1. **開催日** 2005年1月7日(金), 8日(土), 9日(日)
2. **場 所** サンメッセ鳥栖 (佐賀県鳥栖市)
3. **主 催** 日本放射光学会
共 催 高エネルギー加速器研究機構放射光科学研究施設, 高輝度光科学研究センター, 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター, 産業技術総合研究所光技術研究部門, SuperSOR 高輝度光源利用者懇談会, SPring-8 利用者懇談会, 東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設, 東京理科大学総合研究所赤外自由電子レーザー研究センター, 東北大学特定領域横断研究組織「シンクロトロン放射」, 名古屋大学超小型放射光実験施設設置促進委員会, 日本大学電子線利用研究施設, 広島大学放射光科学研究センター, 兵庫県立大学 New SUBARU, PF 懇談会, 分子科学研究所極端紫外光実験施設, 放射線医学総合研究所重粒子医科学センター, UVSOR 利用者懇談会, 立命館大学 SR センター (依頼中含む)
4. **プログラム要綱**
 - 7日は利用者懇談会, 総会と施設見学を行う予定です。
施設見学のために, 7日の午後から定期的にサンメッセ鳥栖から施設までのシャトルバスを運行する予定です。時間が空いた方は適宜にバスを利用し, 施設を見学できるようにいたします。
 - 8日, 9日は企画講演, 特別講演, オーラルセッション, ポスターセッション, 懇親会, 企業展示, 施設報告等を行う予定です。
5. **参加費**

放射光学会員	3,000円	学生	1,000円
共催団体会員	5,000円	学生	1,000円
非 会 員	6,000円	学生	2,000円
懇 親 会	5,000円	学生	2,000円
6. **発表者資格**

日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムの一般講演・ポスターの発表者(登壇者またはポスターの発表の場合は説明者)は, ①主催団体の日本放射光学会会員, または②共催団体の会員か職員に限ります。

 - (1) 共催団体の会員または職員で日本放射光学会会員となっていない方は, 放射光科学の発展に学会が果たしている役割をご理解いただき, 日本放射光学会に入会していただくことを強く希望します。
 - (2) 発表申込み時点で上記の資格を有しない方は, 発表当日までに資格を取得する必要があります。とくに, 日本放射光学会への入会申込み手続きを至急行っていただくことを希望します。
 - (3) 発表者が日本放射光学会の会員, または共催団体の会員・職員である場合は, 共同発表者の中に上記の資格を満たさない方が含まれていても差し支えありません。
7. **発表申込について**
 - 受付開始: 2004年9月1日(水)
 - 申込締切: 2004年9月30日(木) 午後5時
 - 申込方法: 日本放射光学会ホームページを通して, 申込みを受け付けます。
<http://www.ijnet.or.jp/JSSRR/>
 ネットワークトラブル回避の為, 締切日直前の申込みは, なるべく避けて下さい。
 - 発表形式: オーラルとポスターがあります。希望される発表形式を選択して下さい。
 - 発表番号通知: 2004年10月下旬, ホームページ上で公開いたします。

8. 予稿集原稿について

- すべてカメラレディで製作します（本のサイズ A4）。必ず郵送でお送り下さい。
- 原稿形式 発表 1 件につき、予稿は 1/2 ページ（A5/横置き）です。（A5 横置きの原稿 2 件を、A4 縦置きの頁の上と下に並べます。）
- カラー印刷は受け付けませんので、ご了承下さい。
- A5（横長）に下記の要領で文字を打ち込み、原稿を作成して下さい。
 - ① 用紙の余白/上 2.5 cm, 下 1.5 cm, 左右 2.5 cm
 - ② 1 行目左端…実験を行った施設名（8 ポイント）
 - ③ 2 行目中央…表題（10 ポイント）
 - ④ 3 行目…空ける
 - ⑤ 4 行目中央…著者名・所属（8 ポイント）
 - ⑥ 5 行目…空ける
 - ⑦ 6 行目…本文（8 ポイント）
- 原稿提出期限：2004 年 11 月 29 日（月）
原稿送付先：日本放射光学会事務局
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-62-8-507（有）ワーズ内
TEL：03-5950-4896 FAX：03-5950-1292 E-mail：jssrr@kk.iij4u.or.jp

9. プログラムの掲載

日本放射光学会誌「放射光」第 17 巻 6 号（2004 年 11 月末発行予定）

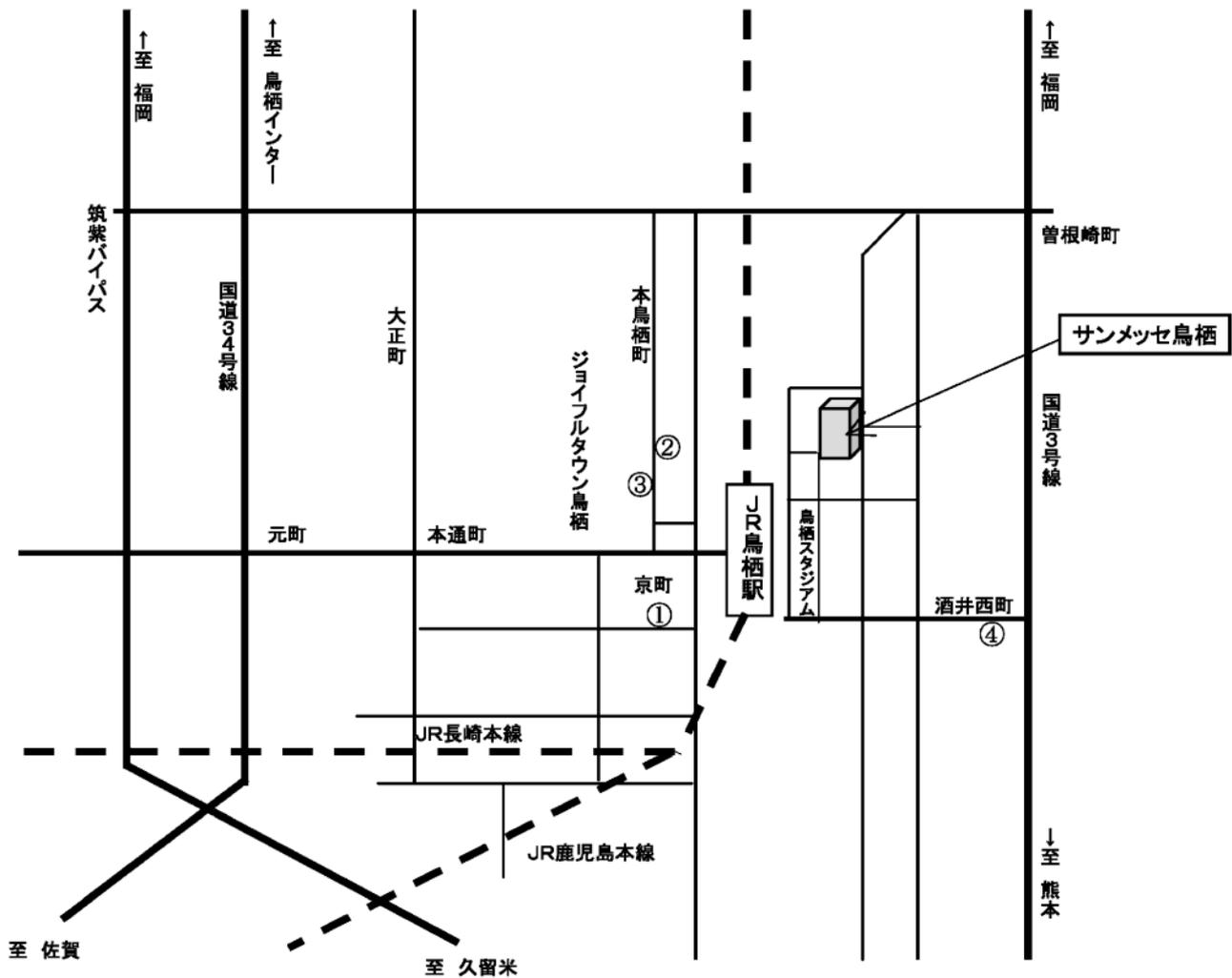
10. 会場周辺地図、交通、宿泊ご案内

- 会場周辺図および主な宿泊施設は図のとおりです。
- ①, ② のホテルでは、申込時に『九州シンクロトロン光研究センター』の関係者と伝えていただければ、割引が受けられます。

交通案内

- 全日程ともサンメッセ鳥栖が会場となります。
- サンメッセ鳥栖は、JR 鳥栖駅から歩いてすぐです。
- JR 鳥栖駅へは、JR 博多駅から特急で約 20 分、快速で約 35 分です。
- サンメッセ鳥栖には無料の駐車場、また、会場周辺には有料の駐車場がありますが、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

鳥栖駅周辺宿泊施設



No.	名称	電話番号	所在地	料金
1	サンホテル鳥栖	0942-87-3939	鳥栖市京町781-1	¥5,700 (税・サ込)
2	プラザホテル鳥栖	0942-84-5050	鳥栖市本鳥栖町615-7	¥5,800
3	ステーションホテルマツザカ	0942-82-2012	鳥栖市京町724	¥5,000 (税・込)
4	ホテルピアントス	0942-82-8888	鳥栖市酒井西町789-1	¥6,300～ (税・サ込)